

第2学年東組 生活科学学習指導案

「野菜の声を聞いて、元気に育てよう！ ～大きくそだて わたしの野さい～」

学習指導者 河口 美穂

1 学級（33名）の実態

（1）共に学びを進め合うことに関する学級の実態

質問紙調査の結果では、「問題を解決するとき、違うやり方や考え方を試している」という項目に対して肯定的に回答した子供は27名いる。一方で、「一年生をむかえよう」の単元では、一年生が楽しめるように関わろうとする姿は見られたが、一年生が活動している様子を見ているだけになったり、一つの遊びをずっと続けてしまったりする姿も見られた。相手の表情や動きを見たり、困っていることは何か考えたりするなど、複数の視点から一年生の様子を捉え、目的に合った関わり方を考えることは十分ではなかった。また、『「友達はどう考えているかな」と考えている」に対して肯定的に回答した子供は20名であり、友達の考えに目を向けながら自分の考えを広げたり見直したりすることには課題が見られる。

（2）本単元の学習に関する学級の実態

本学級の子供たちは、一年生の時にアサガオやチューリップを1人一株育てた経験があり、植物が育つ様子を観察したり、世話をしたりしてきた。また、大葉やキュウリ、ナス、ミニトマトをグループで一株育てた経験がある。質問紙調査では、全ての子供が野菜を育てるのが楽しいと答えた。一方で、休み時間の様子では、育て始めは意欲的に世話をするものの、時間が経つにつれて責任をもって世話を続けられているのは一部の子供たちだけだった。

2 本単元で目指す「共に学びを進め合う子供」の姿と習得を目指す「解決する」方法

課題設定

①時に作成した「野菜の声を聞いて、自分の野菜を大きく育てて食べよう」という単元の目標の達成に向けて作成した学習計画を見ながら、「苗は植えたからもうしなくていいな」、「世話ができていないから、今日は自分の野菜の声を聞いてどんな世話をするか考えよう」などと、まだできていないことの中から必要感の高いものを選び、課題を明確にしていく。

解決の見通し

声を聞き、世話の仕方を考える際には、これまでの生活科での経験を基に、使えそうなものを選ぶ。例えば③時に自分の野菜の声を聞く際には、「アサガオの時は、見たり触ったり、におったりすると、葉や茎などを見ると特徴がよく分かったから今回もそうしよう」、⑤時に世話の仕方を調べる際には、「本やインターネットで調べると、虫の世話の仕方がよく分かったから今回もそうしよう」などと解決の見通しをもつ。

解決

方法：「複数のやり方で試す」

声を聞く視点や世話の仕方を調べる方法を基に、複数のやり方を試しながら自分の野菜の世話の仕方を決めていく。例えば⑤時では、「葉が少し下を向いているから、『のどが渇いたよ』と言っているね」「本当だ。葉だけでなく茎もひょろひょろだよ。『水だけでなく、おいしいものが食べたいな』と言っているんじゃない」「違うところを見るといろいろな声が聞こえているのが分かるね。他の『注目するところ』を見てみよう」などと、友達と「野菜の声」を伝え合う。その後、「おいしいものって何かな。野菜の本で調べてみよう」「〇〇さんは肥料をあげる方法を考えていたよ」などと、野菜の本や友達の世話の仕方などを手掛かりに世話の仕方を考える。

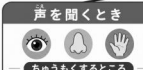

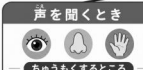

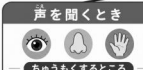

振り返り

できたこととできた理由の二つの観点で振り返る。例えば⑦時では、「できたことは、野菜にぴったりの世話の仕方を見つけたことです。できた理由は、友達と伝え合ったからです」など、できたこととその理由を結び付けて考える。できた理由を考える際には、「複数の様子を比べた」「本で調べた」などの六つの項目に印を付けて振り返る。そして、できたこととできた理由を結び付けて振り返ることで、継続して自分の野菜に合った世話を続けていく思いを高める。

3 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①時

①時では、一年生の時の生活科で野菜の世話をし、収穫している様子が分かる写真を数枚見て、昨年度自分たちがグループで野菜を育てた経験を想起できるようにする。その後、「今年は、自分の野菜を育てて、どんなことをしてみたいかな」と問いかけることで、「収穫したい」「食べてみたい」「家族に食べてもらいたい」「クラスみんなで食べたい」などの思いを高められるようにする。さらに、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマンの苗を提示し、思いや願いを基に、育てたい野菜を選ぶ場を設定する。また、「このままで食べられるかな」と問いかけることで、収穫して食べるためには、これから自分の野菜を大きく育てる必要があることに気付けるようにする。そして、「大きく育てたい」「いっぱいの実を収穫したい」などの思いを基に、「自分の野菜を大きく元気に育てよう」という単元の目標を設定する。

4 単元計画と方法の習得の段階に合わせた手立て (本時 5/13)

次	単元計画	方法の習得の段階に合わせた手立て		
	<p>① 自分の野菜を育てる計画を立てよう</p> <p>昨年度の野菜づくりの写真を基に、野菜を育てた経験を振り返る。その後、鉢で育てやすく、葉や茎、花、実の様子に気付きやすい四種類の野菜の苗から、育てたい野菜を選ぶ。また、苗のままでは食べられないことから、大きく元気に育てる必要があることに気付き、単元の目標を設定する。そして、「世話をする」「観察する」など、目標達成に向けて必要なことを話し合い、大まかな学習計画を立てる。</p> <p>②③ 自分の「野菜の声」を聞こう</p> <p>五感を使って、葉、茎、土などに注目しながら、今の自分の野菜の様子を観察する。「葉が黄色くなっている」など見付けたことを基に「野菜の声」を想像し、写真や言葉で記録して育てる野菜に愛着をもつ。</p> <p>④ 野菜が元気に育つように植えよう</p> <p>「野菜の声」を基に、まずはポットから植木鉢に植え付ける必要があると考える。その後、前時考えた必要な世話をやっていく。</p>	<p>【認知段階】</p> <p>②時に、「野菜の声」をよく聞くためには、複数の様子を見る事の大切さを確かめた後、「複数のやり方で試す」という方法を教示する。そして、世話の仕方を考える際には、「本で調べる」「インターネットで調べる」などの複数の調べ方があることを共有する。そして、複数の様子に注目したり、複数の調べ方を試したりすると、野菜にぴったりの世話が見付かるというよさを共有する。</p>		
二	<p>⑤～⑩ 「野菜の声」を聞いて、世話を考えよう</p> <p>葉、茎、土などの今の様子を見たり、前の様子や友達野菜と比べたりしながら、「野菜の声」を想像する。そして、「野菜の声」を基に、自分の野菜に合った世話の仕方を考え、できることから試していく。「水やりの量を変える」「肥料をあげる」などの世話をし、その後の野菜の様子を見て、世話の仕方が合っていたかを振り返り、記録を写真で残していく。自分たちだけでは世話の仕方が分からない時には、本などで調べたり、「野菜づくり名人」に聞いたりして適切な世話の仕方を考える。</p>	<p>【想起段階】</p> <p>「自分の野菜の声をよく聞き、ぴったりの世話を見付けるためにはどうすればよかったかな」と問いかけ、方法を想起できるようにする。また、方法が想起しづらい子供には、「前の野菜と比べるだけでよかったかな」「世話を考える時はどうしていたかな」などと方法の掲示物を指しながら声掛けしたり、たくさんの声を見付けている子に注目を促したりすることで、方法を想起できるようにする。</p>		
三	<p>⑪⑫ 「野菜パーティー」をしよう</p> <p>野菜を収穫し、自分で育てた野菜を友達と味わったり、家庭に持ち帰ったりする。自分の野菜を大きく育てて食べる喜びや、家族に見せたり食べてもらったりして、育てた達成感を味わう。</p> <p>⑬ 野菜の声を考えて分かったことを振り返ろう</p> <p>観察記録や活動写真を見ながら、「野菜の声」を想像して世話を続けたことで分かったことを振り返る。野菜ごとに必要な世話が違うことや、前の様子や友達野菜と比べると変化に気付きやすいこと、友達と考えることで世話の仕方を見直せることに気付く。また、収穫して食べた経験を通して、野菜も命あるものとして成長してきたことを感じ、これからも身近な命を大切にしようとする思いをもつ。</p>	<div data-bbox="1066 1778 1417 2024" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ふくすうのやり方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>声を聞くとき</p>  <p>きこくもくするにこころ</p> <p>くき・は・土・花・み</p> <p>くちくちをきこく</p> <p>まえのやさしいともだちのやさしい</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>せわを考えたときの調べ方</p>  <p>本 インターネット ものたち 名人</p> </td> </tr> </table> <p>よさ いくつものようすにちゅうもくしたり、いろいろな調べ方をためたりすると、やさしいにぴったりのせわがみつかる!</p> </div> <p>【方法の掲示物】</p>	<p>声を聞くとき</p>  <p>きこくもくするにこころ</p> <p>くき・は・土・花・み</p> <p>くちくちをきこく</p> <p>まえのやさしいともだちのやさしい</p>	<p>せわを考えたときの調べ方</p>  <p>本 インターネット ものたち 名人</p>
<p>声を聞くとき</p>  <p>きこくもくするにこころ</p> <p>くき・は・土・花・み</p> <p>くちくちをきこく</p> <p>まえのやさしいともだちのやさしい</p>	<p>せわを考えたときの調べ方</p>  <p>本 インターネット ものたち 名人</p>			

5 本時の学習

目 標	複数の視点から自分の野菜の様子を捉えたり、前の観察記録や友達の野菜の様子と比べたりしながら、野菜の立場になって「野菜の声」を聞き、その声にあった世話を考えることができる。
--------	---

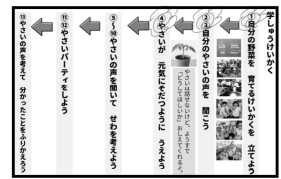
学習活動	主な子供の意識
1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">今日も「野菜の声」を聞きたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「野菜の声」に合った世話の仕方を考えたい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「野菜の声」を聞いて、世話を考えよう</div>
2 解決の見通しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A ぼくは、まず葉や茎、土をよく見たり、前の観察記録や友達の野菜と比べてたりして、「野菜の声」を聞いてみるよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">B 私は、「野菜の声」が分かったら、その声に合う世話を「世話ヒントコーナー」の本で調べてみるよ。</div>
3 複数のやり方を試しながら、「野菜の声」を想像したり、野菜の世話の仕方を見付けたりする。 ・個人 ・自由交流	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A 前の記録と比べると、キュウリの葉が黄色くなっているな。吹き出しに「調子が悪いよ」と書こう。世話の仕方は、「肥料をあげる」にしようかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">B つるが伸びたから、「上に伸びたいな」と書こう。インターネットでは、支柱を土にさして、紐で結んでいたから、それをやりたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A 葉が黄色いからすぐに肥料と思ったけど、それでいいのかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">B 世話の仕方は肥料だけじゃないかもしれないね。調べてみたらどうかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">C 友達の野菜と比べると、虫に食べられている葉があるよ。「痛いよ」って言ってるんだけど、どんな世話をしたらいいか分からないから白帽子にしよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">D 世話の仕方分からない時は、「世話ヒントコーナー」に行ってみるといいよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">C 「世話ヒントコーナー」で調べたら、葉の表だけじゃなく、葉の裏を見て、虫がいたら虫を取るといって分かったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">D じゃあ、葉の表だけじゃなくて、裏も見るといいね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">他の野菜の世話の仕方についても知りたいな。</div>
4 全体交流をして他の種類の野菜の世話の仕方について知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">友達の野菜と比べて自分の野菜を見たら、茎の長さ短かったり、葉の大きさが小さかったりしたよ。「大きくなりたいな」って言っていたよ。本で調べると、太陽の光が好きって書いてあったから、置き場所を工夫しようと思ったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">野菜は違うけど、葉が黄色くなって元気がない所があるから、置き場所の工夫を僕もしたいな。</div>
5 本時の学習を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">いくつもの様子を注目するとたくさん「野菜の声」を聞くことができたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">C さんのおかげで、自分の野菜にぴったりの世話の仕方を見付けることができたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分で考えた世話の仕方を試したいな。</div>

評 価	葉の色や形、茎の太さ、大きさ、土の乾き具合などの複数の視点から自分の野菜の様子を捉えたり、前の観察記録や友達の野菜の様子と比べたりしながら、野菜の立場になって「野菜の声」を聞き、その声にあった世話を考えている。 【方法：発言、様相、表現物】
--------	--

6 本時の詳細 (は、共調整を促す手立て)

～ 課題設定 ～ **学習活動1**

「今日したいことは何か」と問い掛け、「まずは、『野菜の声』を聞きたい」「自分の野菜に合った世話の仕方を考えたい」という思いを引き出す。そこから、自分の野菜の様子から「野菜の声」を聞き、その声に合った世話を考える必要があることを確認し、「『野菜の声』を聞いて、世話を考えよう」と本時の課題を設定する。その後、前時に考えた「野菜の声」と実際に行った世話を振り返り、「前の時間に野菜の声を聞いて世話をしたら、野菜はどうなっていたかな」と問いかける。「水をあげたら葉が元気になった」「支柱を立てたら倒れにくくなった」などと「野菜の声」を想像しながら、自分の野菜に合った世話を考えたいという思いをもてるようにする。



【学習計画】

～ 解決の見通し～ **学習活動2**

「自分の野菜の声をよく聞き、ぴったりの世話を考えるためにはどうすればよかったかな」と問い掛け、「複数のやり方で試す」という方法を想起できるようにする。その際、チェックシートを提示し、声を聞くときには、諸感覚を使って、観察したり、友達の野菜と比べたりするとよかったことを確認する。また、声に合った世話を考える時には、「世話ヒントコーナー（本や今までの世話の仕方がまとめてある場所）」で本を見たり、インターネットで調べたり、友達に聞いたりする方法があったことを確認する。

声を聞くとき	世話を考えるとき
<input type="checkbox"/> 目で見た	<input type="checkbox"/> 本でしらべた
<input type="checkbox"/> においをかいだ	<input type="checkbox"/> インターネットでしらべた
<input type="checkbox"/> 手で触った	<input type="checkbox"/> ともだちにきいた
<input type="checkbox"/> 鼻にちゅうちくした	<input type="checkbox"/> ともだちにきいた
<input type="checkbox"/> 舌にちゅうちくした	<input type="checkbox"/> 名人にきいた
<input type="checkbox"/> 歯にちゅうちくした	
<input type="checkbox"/> 口にちゅうちくした	
<input type="checkbox"/> 鼻の中をちゅうちくした	
<input type="checkbox"/> 舌の中をちゅうちくした	
<input type="checkbox"/> 歯の中をちゅうちくした	

【チェックシート】

～ 解決～ **学習活動3・4**

学習活動3では、「野菜の声を聞くかぎ」を基に、自分の野菜の立場になって、声を聞いていく。その際、諸感覚を使い、茎や葉など、複数の視点で様子を捉え、声を聞いていく。学習支援アプリを使って写真を撮影した後、聞こえた声を吹き出しに書き、「土が乾いているから喉が乾いたって言っているよ。土に吹き出しを貼ろう」などと、声が聞こえた野菜の写真の近くに貼っていく。また、貼った吹き出しの声を基に、どんな世話をすればよいかを考え、吹き出しの近くに書いていく。



【野菜の声を聞くかぎ】

「どんなことで困っているの」と声を掛けやすくする。また、「野菜の声」が聞き取りにくかったり、世話の仕方を考えにくかったりしている子供には、「どこを見ると声が聞こえそうかな」「分からないときは何を使って調べられそうかな」などと声掛けし、葉、茎、土など複数の視点で見たり、「世話ヒントコーナー」を使って調べたりできるようにする。また、同じ種類の野菜を選んだ子供同士でグルーピングすることで、野菜を見比べやすしたり、世話の仕方を交流しやすしたりしておく。「野菜の声」の吹き出しを複数貼ってお世話の仕方を見付けられている子に対しては、「葉や土などいろいろな所を見たり、前の様子やたくさん声を聞いて、自分の野菜に合った世話の仕方を見付けられているね」と価値付け、方法を使うよさを実感できるようにする。学習活動4では、全体交流を行い、他の野菜の世話の仕方を知ることで、自分の世話に活かそうなものはないか考える機会とする。



【野菜の声と世話の仕方】

～ 振り返り～ **学習活動5**

本時できたことと、できた理由を振り返りカードに書いて振り返る。

活動中に想像した「野菜の声」と、その声に合った世話の仕方を見ながら、「今日は、〇〇のお世話を考えることができた」など、本時できたことを記述する。また、できた理由については、複数の様子に注目したこと、前の様子や友達の野菜と比べたことなどをチェックして振り返る。また、友達と関わってよかったことについては、「友達と交流して、自分では気付かなかった『野菜の声』が聞けた人」や「友達と交流して、よりぴったりの世話が考えられた人」を教師が問い掛け、「友達と関わると自分の考えが広がったり、深まったりするね」と協働のよさを価値付ける。

<p>① 今日 () ができた。</p> <p>できた理由(理由)は、あとでは自分のことについて。</p> <p><input type="checkbox"/> よく自分のよさをくらべた</p> <p><input type="checkbox"/> 友達のよさをくらべた</p> <p><input type="checkbox"/> ともだちのやさいをくらべた</p> <p><input type="checkbox"/> ともだちとつたよさがあった</p> <p><input type="checkbox"/> ともだちにきいた</p> <p><input type="checkbox"/> () でしらべた</p>

【振り返りカード】

